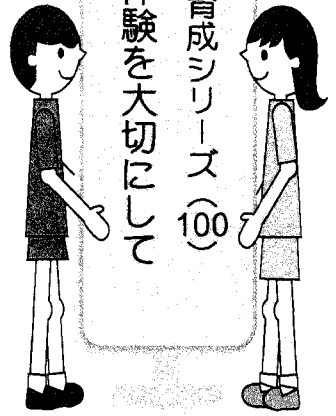


健全育成シリーズ(100) 体験を大切に



小さいころ、何か一つのものに夢中になっていたという記憶はありませんか。虫とり、魚とり、木の遊びはそんなものでした。

ところが、現在では「ママが、土は不潔だといったからさわりたくない」とポケットから、手を出そうとしない子どもが増えてきています。川の水の色、土の様子、虫の幼虫・・・それぞれに、子どもたちが実際に自分の目で見ることが大切なのです。

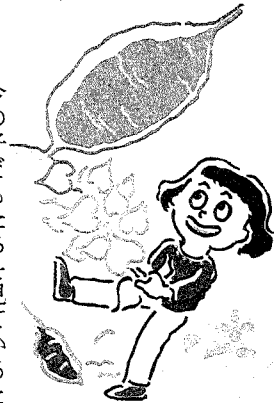
五感を使って自然の様子を把握する。さらに、お年寄りの昔の話をきいて知識を広める。そんな一昔前ならあたりまえなことが今は無くなっています。

近ごろ、子どもたちの心が荒れていると言われています。現実に対して、テレビゲームのように、リセットできる感覚で見ているのではないかと思えるような事件も起こっています。それは、子どもたちが自然から遠く離れて生きていくことに関係があるのではないかと気がします。状況は都市でも地方でも同じようです。だか

ら、できるだけ自然に、生き物に触れるチャンスを作って欲しいものです。

「生きていく」とは何か。それは知識では教えられません。子どもが自分で「生き物」に触れる体験をしなが

ら、命ってこんなもんだと感じることが大切なのです。それを十歳くらいまでにきちんと体験させてください。生き物の存在、生き物のつながり、これらを体で感じること十歳までに体験していれば大人になっても原体験として残っています。



今の子どもたちを見てみると、経験の応用がきかないようです。一つの体験はそのまま終わっているのです。それをほかの体験に横につなげていけないのです。どうしてそうなったのでしょうか。今の子どもというより親の世代からかも知れませんが、子どもの時代にいろいろなことを体験することが無くなってしまったからではないでしょうか。昔の子どもたちの遊びは、みんな

な能動的に参加しないと成り立ちません。遊びたい相手とうまくやっていかないと、遊びたい遊びができませんでした。そういうふうな遊びの中でいろいろな工夫や失敗をしないと自分の体験を総合していく能力が育たないと思います。

今の子どもたちに見られる現象で怖いのは、遊びを通じての直接体験でなく、TVゲームや、ビデオなどの疑似体験の世界に侵されてしまっていることではないでしょうか。大変なことだと思います。そういう視点から今の若者や少年たちを見て感じることは、生きること実在性がないということです。

ですから、大切なことは、父や教師をはじめとする大人が、子どもの感動に共感し、子どもの驚きや発見する喜びを、ともに味わうことだと思います。

そして子どもたちが興味・関心をもったことをやらせ、失敗を繰り返しながらいろいろなことを分からせる。例えば、一歩戸外へ出て空気に触れ、水に触れ、風の音を聞き、木々や虫などに触れてみる。小さいころからのそんな体験がとても大切なのです。

将来ある子ども達のために、大人が自然環境問題を真剣に考え、このすばらしい自然を破壊しないよう知恵を働かせながら、いろいろな体験を提供してやるのが重要なことではないでしょうか。

伝言板

大月保健所

大月市大月町花咲1608-3

☎(22) 7824

すこやか出生

相談のメニュー

：遺伝に関する相談：

次のような心配や不安はありませんか？

▼家族や自分自身に生まれつきと考えられる病気などがある

▼結婚しようと思う相手の家族に遺伝に関係するかも知れない病気などがある

▼前の出産で病気の子が生まれたが、次の子は大丈夫だろうか

▼近親婚（血族結婚）すると遺伝的にはどんな影響があるのだろうか
そんなとき：

新しい医学や遺伝の知識をもとに親切に納得のいく説明と相談に応じます。

◆電話による相談は随時受け付けます

来所される場合は、あらかじめ電話などで相談の日時を予約してください

◆相談は無料です

◆秘密は厳重に守られます

◆すこやか出生相談は県内各保健所で行われています

申込先 大月保健所 保健指導課

臓器提供意思表示

カードなどへの

ご記入をお願いいたします

●臓器移植について

臓器移植は、臓器の機能が低下したりあるいは不全状態になってしまった方のための唯一の根治療法です。日本では、数多くの方が移植を希望しながら亡くなられているのが現状です。

●臓器提供について

意思表示カードなどの書面に表示された本人の意思の確認と家族の承諾がなければ臓器の提供はできません。

●意思表示カードなどについて

意思表示は、カードと免許証などに貼るシールによる方法があります。

脳死後・心臓停止後の臓器提供の意思の有無、提供時の臓器の種類などを記入するようになります。本人に臓器提供の意思があっても、カード・シールがないとその確認ができません。必要事項を記入したカード・シールの携帯をお願いします。

カードは市役所・保健所・郵便局などに、シールは警察署にあります。